

ひとりだち

きこえとことばの
支援センターだより
R6年 5月号



みみの助

補聴器についての基礎知識 補聴器の購入の流れ

みなさんは、補聴器が古くなって新しい補聴器が欲しいとき、どうしていますか？

新しい補聴器は高いものでは、1つ30万円を超えるものもあります。両耳に付けるためには2つ必要ですから、簡単には買えませんね。そこで、補助金（税金によって代わりにお金を払ってもらうこと）をもらう方法があります。身体障害者手帳のある人は補聴器の代金の一部が補助され、原則として、1割の負担金で買うことができるようになります。

前の補聴器を申請してから5年が過ぎると申請（申込）をすることができます。

高等部のみなさんの中には、自分で申請の手続きをした人がいるかもしれませんね。まだ経験をしたことのない人も、学校を卒業した後は自分で申請（申込）の手続きを行っていかなくてはなりません。自分が使う補聴器ですから、次の申請（申込）のときには家の人や先生と相談しながら、少しでもチャレンジしてみませんか？

今回は、身体障害者手帳のある人の一般的な流れを例にあげますので、参考にしてみてください。

① 耳鼻咽喉科を受診して聴力の精密検査を受ける

- ・補聴器相談医を受診すると良いです。
- ・先に、居住地（市町村）役所で「医師意見書」をもらってから病院に行くことも可能です。

② 必要な書類を取り寄せる

- ・居住地（市町村）役所の障害福祉課などに行き、「給付申請書」「補装具支給申請書」「医師意見書」をもらいましょう。
- ・役所が遠い人は手紙を書いて書類を送ってもらったり、Webサイトから様式をダウンロードできる場合があります。確認してみましょう。
- ・窓口の係の方に、書類の記入方法等について説明を受けるとこともできます。

③ 書類を書く

- ・「補装具支給申請書」は身体障害者手帳を見ながら書きましょう。
- ・「医師意見書」は病院で書いてもらうことができます。聴力検査をして、補聴器が必要であることを医師に証明してもらいます。※①の内容と同じです。

自分がほしい補聴器を選ぶ



<家庭で>

- ・どんな型の補聴器が良いか考えましょう。
- ・耳掛け型の場合は、イヤモードも一緒に考えなければなりません。
- ・型が決まったら、いろいろな会社のパンフレットやホームページ等で調べましょう。補聴器は、たくさんの種類があり性能も様々です。自分の聴力レベルに合わせて希望する機能を考えましょう。

<補聴器販売店または学校で>

- ・補聴器によっては試聴できるものもありますから販売店に依頼して、実際に試聴して決めるのも良い方法です。学校の補聴相談時に、販売店へ依頼（お願い）することもできます。
- ・補聴器が決まったら、「見積書」を希望の補聴器を取り扱っている販売店に書いてもらいます。希望する補聴器がいくらするのかを計算してもらおうのです。



★全ての書類が整ったら

⑤ 役所に申請する(書類の提出)

- ・補聴器の申請のために、役所へ書類の提出に行きます。
- ・このとき何か不備があった場合は、書き直しとなることもあります。余裕をもって手続きすることをお勧めします。

★書類を受け付けてもらったら

⑥ 申請の許可

- ・書類提出から約2～4週間後に、役所から「補装具費支給券」が発行されます。
- ・「見積書」を書いてもらった販売店からも連絡があります。
- ・イヤモードが必要なときは、耳型を取ってもらいます。店舗でも学校でも可能です。
- ・付属品やオプション等必要なものがあるときは、一緒に注文すると良いでしょう。

⑦ 補聴器が届く

- ・「補装具費支給券」に署名（名前を書く）し、補聴器販売店に提出します。
- ・差額（見積書の金額との違い）を支払う場合があります。差額がなくても1割負担があります。



その他のポイント

- ★補聴器の中には障害者総合支援法対応であれば、イヤモード2つと補聴器2台で11万円（高度難聴用）～16万円（重度難聴用）程で買うことができます。

★身体障害者手帳がない場合でも、「軽度・中等度難聴制度」により補聴器等の購入の一部が補助されます。住んでいる市町村ごとに内容が異なりますので、役所で確認をしてください。

★補聴器の耐用年数は「5年」ということになっていますが、5年を過ぎても正常に動いている場合も多くあります。しかし、補聴器の性能はどんどん改善されています。そのため、補聴器に不具合がなくとも、進学の節目等に購入を検討される場合もあるようです。また、18歳までは2台（両耳）が補助の対象となります。逆算して購入計画を立てるようにしましょう。

★参考図書

「よりよいコミュニケーションのための 聞こえのワークブック」梓書院

聞こえにくさのある本人および近くの方が、どのように聞こえにくいか、それにはどのような対応が適しているかを書き込み、一緒に学べるワークブック形式の本です。補聴器購入の手続き以外にも、様々な情報が掲載されています。学校にもありますので、興味のある人は担任の先生を通して「きこえとことばのセンター」担当まで申し出てください。

補聴についてのミニ知識

空気電池をもたせるコツ



補聴器でよく使われる電池は空気亜鉛電池です。

シールをはがして使うもので、使い方によって異なりますが、だいたい 1週間から 2週間程度で電池が切れます。最近では、電池交換が不要な充電式の補聴器も出てきていますが、少しでも電池を長持ちせられると嬉しいですね。

★シールをはがしてから空気が行き渡るまで30秒～1分待つ。

★寒い場合は少し温めてから使用する。

★補聴器保管時には、電池は乾燥ケースの外へ出す。

この2つを意識するだけでも電池の持ちが変わってきます。試してみてください。



補聴相談の予定

*ナショナル補聴器センター …… 6月 5日、19日（毎月第1・3水曜日）

*理研産業 …… 6月12日（毎月第2水曜日）

場所：本館1階 補聴相談室

時間：13時30分～相談が終わり次第終了

*イヤモールド作成、補聴器の不具合等の相談は、業者来校日の前に、担任を通じて補聴相談係への連絡後、申込用紙の提出が必要です。